



けすぞう新聞

2020年6月発行
NO.30
播磨町消防団女性分団

いま、わたしたちに来ることは

活動は実質、休止中です

- 4月19日操法講習会
- 4月25日風薫るフェスタ
- 5月17日操法講習会・操法大会
- 5月28日北部支援センター 防災訓練
- 6月 7日兵庫県女性消防団員研修
- 6月14日東播磨操法大会
- 6月20日大中東サロン（防災劇）



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、4月以降中止になったイベントです。現在、新たな啓発活動の依頼や研修の開催連絡もなく、実質的に活動休止の状態が続いています。

今回は視点を変えて、団員の近況をご報告いたします。

団員H

緊急事態宣言が解除されて2週間経ちますが、手洗い、マスク着用は徹底しています。

今あらゆる場所にアルコール消毒液や手作りの消毒液が設置されており、頻繁に使用してます。最近、手に付けた瞬間、アルコール消毒かそうでないか分かるようになりました。アルコール消毒液と手作りの消毒液は、混ぜても皮膚に問題はないのか、不安に思います。秋に徳島で予定されている、活性化大会の開催が気になります。

団員K

相変わらずステイホーム生活、テレビの前で座ったまま、延々編み物しています。コロナ太りで体重いです。

職場は介護施設という事で、マスク手洗いうがい消毒を徹底しています。室内は勿論、送迎車、トイレも徹底的に！家庭内でも徹底！毎日検温！

団員S

緊急事態宣言が発令されてから解除されるまで完全テレワーク。テレビ会議も活用し、手探りながらもなんとかできるのだと感じました。6月から電車通勤が再開されました。時々1時間の時差出勤してますが、7時台の電車も乗客は多いです。オフィスも窓全開。マスク、手洗い、消毒、あつまれ〇〇〇〇の森やっています。

団員M

3月以降、手洗いうがい、マスク着用を続けています。休校期間は子どもに夕食作り、洗濯物片づけといった家事を任せていました。食材の買い出しは以前から週1回のみでしたので、特に特別なことはしていません。今の環境でできることをやっています。大中東サロンで活動の様子を撮影し、この新聞に掲載する予定がなくなってしまい、とても残念です。

最後に・・・名古屋グランパスのMF稲垣祥選手が、感染拡大による部活動休止などに直面する中高生へ「与えられた中でできることを探すのはコロナ禍に限らず選手にとっては大事なこと。

そういった能力を磨く機会と捉えては」と発想の転換を呼びかけていました。

前代未聞の厳しい状況ですがこんな状況だからこそ新しいことにもチャレンジできることもあります。みんなでプラスに考えて乗り越えていきましょう。



最前線で社会を支えてくれる人々は医師や看護師らの医療従事者や、危機対応にあたる公務員だけではありません、配達を担う物流事業者、スーパーやドラッグストアなどの販売員のみなさん、バスや地下鉄など公共交通の職員ら、多くの人が「最前線」で働いています。海外では「エッセンシャル・ワーカー」「フロントライン・ワーカー」などと称され、感謝と尊敬を集めています。私たちの生活を支えてくれている人たちへの感謝と思いやりの気持ちを忘れずに活動の再開を待っています。